

会 議 議 事 録

1 会議名	平成28年度第2回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	平成29年3月27日（月曜日） 午後2時から午後3時30分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>（委員）赤柴委員 浅田委員 磯部委員 加邊委員 鯉江委員 小林和子委員 小林啓一委員 佐合委員 関委員 竹内委員 南雲委員 長谷川和明委員 長谷川剛副委員長 林委員 藤田委員 堀委員 本田委員長 松田委員 山崎委員 米山委員</p> <p>（事務局）副市長 福祉総務課長ほか関係職員 介護保険課長ほか関係職員 長寿はつらつ課課長補佐ほか関係職員 健康課長ほか関係職員 長岡市社会福祉協議会事務局長ほか関係職員</p>
5 欠席者名	小林守委員
6 議題	<p>（1）第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について</p> <p>（2）平成28年度日常生活圏域ニーズ調査の結果について（報告）</p> <p>（3）その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課 課長補佐	<p>ただいまから、平成28年度第2回長岡市高齢者保健福祉推進会議を開会いたします。</p> <p>本日、小林守委員は、所用により欠席でございます。</p> <p>はじめに、資料の確認をいたします。</p> <p>（資料確認）</p>

<p>委員長</p>	<p>不足している資料はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これから議題に入ります。ここからの進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。</p> <p>皆さん、ごめんください。</p> <p>第2回の高齢者保健福祉推進会議ですが、現在第6期の計画が進んでいる最中でございます。あと1週間でまた新しい年度を迎えますが、今年度の進捗状況などをまた見据えながら今後作成するこれは、将来的にずっと続く保険制度でございます。そんな意味でニーズ調査の報告を入れながら、今日は次の第7期の話に進んでいけたらと思っていますので、よろしくお願ひします。</p> <p>なお、先ほどのお話にありましたが本日の終了時間は3時半ですので皆さんのご協力をお願いします。それと本日が委員の任期の最後ということで、一言ずつ皆さんからお話をさせていただければと思っておりますので、併せてよろしくお願ひします。</p> <p>では、議題を進めさせていただきます。</p> <p>議題の「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>長寿はつらつ課でございます。よろしくお願ひいたします。私の方から資料No.1-1に従いまして順次、担当課長が説明をさせていただきます。</p> <p>(説明)</p>
<p>介護保険課長</p>	<p>続きまして、施策の柱、「持続可能な介護保険制度の推進と適切な運営」ということで介護保険課でございます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>(説明)</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>続きまして、福祉総務課でございます。よろしくお願ひいたします。私の方からは「持続可能な介護保険制度の推進と適切な運</p>

健康課長	<p>営」の後段、「施設整備」につきましてご説明いたします。</p> <p>(説明)</p> <p>それでは、健康課でございますが、「健康づくりへの支援の強化・推進」について、ご説明をいたします。</p> <p>(説明)</p>
福祉総務課長	<p>続きまして、最後の「地域で支え合う体制の構築」についてご説明いたします。</p> <p>(説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。ただいま、第6期計画の進捗状況ということで資料No.1-1を中心に話していただきました。その細かいデータ等は、資料No.1-2、1-3とございますけれど、最近特に言われている地域包括ケアシステム、今日も色々なところで言われていますけれども。それから認知症のこと、あるいは健康寿命をいかに伸ばすかということなどございますけれども、皆さんの方からどんどん、この点はどうかとご質問やご意見がございましたら、お願いしたいと思います。</p>
委員	<p>ちょっと一点だけ、初歩的なことで申し訳ないのですが、施設整備というのがございますよね。この施設整備というのは基本的には事業者の方から申請が出てきて、その申請に対してこういう介護施設を作りたいということが基本なんだろうと思います。ただ、それだけでやっていきますと、どうしても、ちょっと言葉は悪いのだけれども採算が合うところ、あるいは利益の出るところにそういったものが集中してきて、ほかの過疎的なところはあまり整備されにくいのかなと。かといってですね、市の方で介護施設をそういうところを作りまして経営していくというのも、無理な話だろうと思います。そういうような施設整備に関して、集中と過疎、そういったところはどんなバランス、あるいはどういう指導をしているのでしょうか。</p>

福祉総務課長	<p>計画策定にあたりましては、エリアごとに施設を大雑把な配置を求めておりまして、それから公募にかけます。そういったことから特定の地域に偏ることがないように配慮してやっておりますので、本当にごくピンポイントでこの場所というわけではなくて、ある程度のエリアという考え方を導入しております。以上です。</p>
委員	<p>そうすると、今の評価としては全体としてはバランスがとれて、施設整備がされているというふうにお考えなんですね。</p>
福祉総務課長	<p>地域バランスについてはおっしゃるとおりです。</p>
委員	<p>はい、わかりました。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。その他、皆さんの方からはいかがでしょうか。</p> <p>今お聞きして地域包括ケアシステムなどの点、非常に動いているなど感じると同時にまた、今日もちょうど国会で言っていましたけれども、医療と福祉、お互いに横の連携を取りながら、もっともっと人材をとというようなのを、質問の中で言っておられました。総じて全体的にみてこの長岡の地域包括ケアシステムというのは、ICTなどを使ったのも含めながらどんな感じなんでしょうか。ちょっと自分のところの市だとわかりにくい点があるかと思うんですけれども。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>長岡の医療に関しては比較的バランスがとれて、よその地域の人が来るくらい量は充実していると思います。それから施設の数もよそに比べると少なくはなくて、長岡は全般的にみると医療、福祉ともに、よその地域よりは良いのではないかと。もちろん、本当に良いというのはなくて、いつまで経っても足りないんですけども、比較上は良いというのが現状だと思います。ただ、長岡の最大の弱点は、検診を受ける率が非常に低いってということと、ガンの死亡が多いということですね。</p>
委員長	<p>地域包括ケアシステムで医療の関係については全体的に良いという部分もございましたけれど、介護の方は、いかがでしょうか。</p>

委員	<p>施設のことですが、平成 29 年度のまた次の施設整備というのがここに載っていましたが、またこれだけのサービスと施設もできるという状況をみますと、これはやっぱり人材不足が本当に厳しい状況ですので、その辺のところでもまた既存の事業所も厳しい状況になるかなとちょっと思ったところでもあります。</p>
委員長	<p>介護の方は全体的に進んでいるけども、これから施設整備を考えると人材不足というのが出てくる。その対策も先ほど事務局から話が出ましたけれども、この前もあるところで、地域の福祉の関係とそれから医療の関係、その他の関係の懇談会と申しますか、お互い顔の見える関係を作ろうということでやっていたのを見たことがあります。そういう動きとはいうのは、どんなものでしょうか。よくつかんでいるのは保健師の方だと思いますが、ご意見であったり、連携の状況であったり、いかがでしょうか。</p>
長寿はつらつ課 高齢者新総合事業推進係長	<p>顔の見える関係ということでは、長寿はつらつ課の方で先ほど課長からも紹介があった多職種連携、地域別多職種交流会だとか、あと社協さんと一緒に地域福祉連携会議等を通して市民の方と、あるいは専門機関の方だとか各事業所の方と、その地域に根ざした活動を市民の声を聞きながら進めている状況です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今まで色々、横の連携あるいは介護の関係、医療の関係をちょっと聞かせていただきました。皆さんの中でここまでで何かございますでしょうか。それでは、第 6 期計画の進捗状況については、特にこの資料 No. 1 - 2 のところに細かく載っていますので、そこを見ていただければ、そして大まかな点については資料 No. 1 - 1 で確認することができました。よろしくお願いします。</p> <p>それでは、続きまして報告というところに入っていきたいと思えますけれど、平成 28 年度日常生活圏域ニーズ調査を行いました。計画を立てる一年前に早い形でまとめたわけですが、事務局からその報告をお願いします。</p>
福祉総務課長	<p>今ご紹介いただきました日常生活圏域ニーズ調査、これは昨年 11 月から 12 月にかけて実施したものでございます。目的は来年度</p>

	<p>策定する予定の平成 30 年度からの第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、この基礎資料にするというものでございます。詳細の結果のまとめたもの、また後日委員の皆様へ送付させていただきますけれども、本日は集計分析を委託いたしました長岡大学から分析結果の速報ということで総括的な話、あるいはポイントとなる点の概略をご報告いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>それでは、よろしく願いいたします。</p>
<p>長岡大学</p>	<p>はい。私の方から報告をさせていただきます。</p> <p>資料ですが、資料No.2の「長岡市日常生活圏域ニーズ調査報告書概要版」をご用意ください。</p> <p>(説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、生活圏域の実態調査、色々興味ある関係だとか相関関係についてもお話していただきました。時間がちょっともうけますので、皆さんの方からご意見やご質問、また感想も含めてありましたら、お願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>実は先ほど委員が言ったのと関係するのですがけれども、市民全体の希望を当然市は計画に反映しますし、国は国民全体の希望を計画に反映しますので、福祉関係の施設とか機構はどんどん増えているんです。ところが現実問題、担当する人が増えないために、先ほど委員が言いましたけれども、新しい施設ができるのと古い施設から人材が引き抜かれて非常に存立が難しくなる。これは実は全国で起こっておりまして、3年前までは福祉施設は増える一方だったんです。ところが2年前から施設が消滅し出しまして、昨年は1年間に108カ所施設がなくなって、つまり計画で新しいのを作っていますが、どんどん消えていっているんですね。一つは福祉の仕事をする人の数が少ないのと、それから予算の関係で件数が減っているのと、それからもう一つは作りやすいところに作るためにその地区の競争が、長岡はそうじゃないですけど、激化して、それがこの2年間で目立ってきて、去年は1年間で108カ所の消滅ということは、病院の消滅よりも多いんですね。病院は多すぎるので減らす方向で動いていますけど、福祉は足りない</p>

	<p>足りないということでどんどん増やしてしまうんですけども、現実には福祉も減り出して、新しい施設を作れば古い施設がもたなくなる可能性があるという、経営努力とかいろいろな問題があるんですけども、経営努力を上回るそういうものがあります。希望どおりに作っていくことが、本当にそのままうまくできるようになるかという問題が、今のところ長岡はあまりないんですけど、来年の3月までに一つ消滅が予想されています。そういうことで全国的に福祉はニーズが多くて増えてきたんですけども、それに対応することが難しくなってきた、現実問題からすると、新しいのができたら古いのがなくなるといったことが起こってきているのが、ここ2年で特にそうなっています。一応ご報告まで。</p> <p>本当は、私は医療担当なので福祉のことはあまり言うべきではないのですが、切実なのがありますのでお話ししました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>大きい全体の傾向として、一か月くらい前もちょうど空きベッドが相当あるということで、その原因が、入所者ではなくて人材不足のところにありますよというのは、新聞の解説で載っていました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>色々と詳しい分析の方、ありがとうございました。</p>
	<p>歯科の立場から2点ほど、意見というか気になったところをご指摘させていただきます。まずは26ページのご報告いただいた「今後の暮らしについて」というところで、太字の川口のところが歯科衛生士の口腔ケアがという説明の部分で、ここに書いてある言葉の意味が理解できるかどうか。例えば、歯科衛生士という言葉ですね、結構歯科衛生士と看護師さんの違いが分からない方もいらっしゃるし。ということは設問の部分で、後ろに付けてあった設問の部分で訪問と暮らしについて問9、13ページ。こここのところで(2)の「もし自宅で介護を受けることになった場合、次のうち安心して暮らし続けるために欠かせないことと思うことはどれですか」という質問に関しての答えが、3番のこの文章の意味がわからなければ丸が付けられない。だから例えば、「歯科衛生士による口腔ケアが…」と同じような意味の、「おいしいものを自分の口で気にしないで食べられるような指導が受けられる、そういう体制を整えてほしい」という、そういう要望であれば数字が変</p>

	<p>わってくるのではないかと、歯科衛生士よる口腔ケアがという意味がわからなければ、そこはスルーされるんじゃないかと。私の記憶では川口地区は歯科衛生士、かなり少ないはずですので、よりそういう傾向が出やすいんじゃないかなということが一点。それから戻りますが、食べることについて、15 ページ、はじめの資料の 15 ページの間3「食べることについて」。ここの部分についても歯科の立場からのお話なんですけど、自分の口から食べたいものを食べられるかどうかということが一番のポイントだと思います。義歯を使っているかどうかということも大事なポイントなんですけど、そこで結びつけると質問票のところの設問の順番はともかくとして、結びつける場所としては6 ページ、質問の6 ページの食べることについて(2)の固いものは食べにくくなりましたかということと、(3)のお茶や汁物でむせることはありますかということと、(5)の歯磨き、それから、(6)の入れ歯、この関連性を見ていただけるとまた面白い数字が出てくるんじゃないかと思います。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。口腔ケアは、健康づくりでも相当大切な部分に入ってくようなかと思えます。ありがとうございます。</p>
委員	<p>大変興味を持って調査結果を読ませていただきました。実はこの調査に先立って、昨年の夏頃、寺泊の地域委員会で地域交通に限定したニーズ調査とアンケート調査を実施したのですが、ほぼこの調査と同様の結果になります。それで、今ちょうど寺泊と和島が一つのグループなんですけど、和島も同じように高齢者の足、地域交通をどうするかというところで取組が、相談したわけじゃないのに一致しているんですけど、その中で確かに足の手段がないために外出しないという層があることが確かなんですよね。そこでこれから、これは地域だけ、あるいは寺泊とか和島に関して地域交通をどうするかという課題というのは、非常に大きな重い課題になっているんです。先般、市の交通政策課との打ち合わせもさせていただいたんですが、やっぱりここは来年度、合併地域の高齢者の足をどう守るかという部分で市からも力を入れていただかないとならない課題ではないかと思っているんです。今、方針として挙がっているのが、あるいは見込みとして挙がっているのはデマンドタクシー方式を地域で組織を立ち上げてやってく</p>

	<p>さいという話になっているんですが、この地域組織を立ち上げて、今まではNPOだけが許可されていたものを地域で立ち上げてもいいですというような話のようでありますので、そこに向かって進むんですけども、これは相当市から色々な面でアドバイスだけでなく強力な支援をしてもらわないとなかなか難しいのかなという感じをもっています。それで、この調査で、私どもの調査で分かったのが、高齢者の不安材料というのが、一つが医療で一つが交通手段、交通対策。これが大きな課題ではなかったかと思っていますので、私どももその部分で取り組んでいきたいと思えますけども、バックアップといいますかアドバイスといいますかご指導をぜひお願いしたいというふうに思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。交通手段の関係が出ております。高齢者は医療の問題もあるし、介護の問題もあるし、交通の問題もある。より今のこの数字から見えてくるのではなかろうかなというところで。</p>
<p>啓一委員</p>	<p>今の委員さんのおっしゃるとおりで、本当に高齢者は何をすることもまずは交通、移動手段というものを確保していかないといけないというのが本当であって、今本当に寺泊地域、和島地域の方たちはどこに動くかというのがあって、大きな輸送というのもあると思えますし、あるいは老人クラブで活動するとか、各地域で、サークルで活動するとかいうことでも一人じゃ行けない。要は家族にお手伝いしてもらわなければ参加できないという状況というのも、至るところであって、そうするとその大きな地域的なものでの移動と、それからその地域で個別であるものに関して、いかに移動手段というのを確保していくというところは、これから非常にもう、前提になるんじゃないかと思えますので、その辺のことは本当に支援をいただければいいんじゃないかなというふうに思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>本当にこのアンケート、色々なものが浮かび出ているなど感じますし、またそういう意味で、このニーズ調査が次の期に生かされる施策と申しますか、手段を今度構築していく一つの模索にもなりますので、アンケートを取るというのが目的ではなくてそれ</p>

	<p>を生かすというところに、生かすのも色々な方法でできることとできないことと、市全体でやるのと、あるいは自助、公助、互助というような部分など色々なものがあると思いますけれども、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、さっきもお約束しましたとおり3時半までということで、これが最後の会議になりますので、この会で言い足りなかったこと、あるいはそれ以外の感想でもよろしいですので、全員の方から一言ずついただきたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。これで最後になりますので、順番をお願いします。</p>
委員	<p>はい、任期中はお世話になりました。私の方でちょっと主張が足りなかったなと思ったところをだけ、ご挨拶がわりにお話をさせていただきます。高齢者の色々なQOL、生活の幸福度を含めたQOLは、実は自分の口から物を食べることが非常に関わっていて、これは歯科を代表してということだけではなく、委員の皆様にも知っていただきたいこととしては、実例として車椅子を使用していた要介護度4だった方が、そのままと寝たきりになってしまうという方が、入れ歯を作り直したら自分の足で歩けるようになったという実例です。ほかにも多数の事例がありまして、自分の口から食べることでできる幸せは、イコール生活の向上につながるということで、今後また新しい高齢者保健福祉推進会議で進めていくうえで、そういう部分を意識していただいて進めていただけたら幸いです。ありがとうございました。</p>
委員	<p>この推進会議に参加させていただきまして非常に参考になりました。ありがとうございました。私は、費用負担関係者というところから、一つだけお話をさせていただきますと、先ほどのアンケートの27ページ、介護保険料を上げてほしくないというのが今の報告にございまして、これで6割強あるという部分でございます。このアンケートは第1号被保険者、65歳以上の方々のアンケートということですが、40歳から64歳までは第2号被保険者ということで、第2号被保険者の中で保険者として健康保険組合とか共済組合、それから協会けんぽ。そういう方々の保険料は各保険者が徴収して、支払基金に納付し、その基金から、また国から市役所に交付されるということの中で、納付金額が毎年上がっています。その納付金を納めるために介護保険料を保険者はみんな上げ</p>

<p>委員</p>	<p>ております。ですから、この介護保険料だけではなくて前期高齢者納付金、後期高齢者支援金、これも毎年上がって保険者の財政が非常にひっ迫するようになってきています。ということから、何を言いたいかといいますと、そういう貴重な資金を利用して、こういう業務の方に色々と配分するのでしょうか、適正な運営に努めていただきたいというのが費用負担側からのお願いでございます、以上です。</p> <p>ごめんください。23年から6年間2期お世話になりました。ありがとうございました。とても高尚な会議で、会議の中で事業計画とか推進委員とか、そういう計画の素晴らしい会議だなと思ひまして勉強になりました。ありがとうございました。これから民生委員としてやっていくのですが、それをまた勉強になりましたことを基に見守り活動をしたいと思ひます、よろしくお願ひします。どうもお世話になりました。</p>
<p>委員</p>	<p>医療のことだけで言いますと、皆様方が入院すると昔はかなりゆっくりと入院できたのが、最近はかなり早く退院させられるようになったと思うんですけど、実は一般病院で言うところ数年間で入院期間が半分になっています。前はどうやって3週間を割ろうかという話をしていたのが、今はもう2週間くらいまで減っています。精神病院はもっとすごくて、平成元年の時は491日くらい入院していたのが、今は250日、半分です。私のいる田宮病院はもっとすごくて、ここ数年で半分になりました。長期入院が非常にできなくなっています。それは逆に言うと、施設にいる方が多くなっているということがあります。そういうことで、世の中の流れで医療は福祉と連携してやっていくと、どこが面倒を見るかという問題が実は非常に大きくて、適切な答えが今はなくて、やりやすいところがやっていくために一番厳しく管理しやすい病院の入院期間が非常に短くなっているというのが現状であります。以上、ご報告まで。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどは報告の時間、ありがとうございました。現代社会において今何が問題かという、人口減少において日本はどうなるんだということ、どうしてもお年寄りよりも子どもを産めとか、どうやって増やすんだとか、そちらに着目がいくんですね。それ</p>

	<p>と働き手が不足してくるだろうということで女性の社会進出というところにいきますが、一方で 60 歳から 65 歳は希望すれば継続雇用がなされるようになっていて、ますます社会に元気なお年寄りがいっぱいくるので、やっぱり子どもだけの話ではなくて、こういう問題もしっかり考えて、どうやったら本当に幸せなのかということも、単に子供を預けて働けばいいとか、おじいちゃんおばあちゃんを無視しておけばいいということではないと思うので、そういうのも含めてこれからも考えていきたいと思っているところです。どうもありがとうございました。</p> <p>ごめんください。3年間ありがとうございました。私がこの会議に参加させていただいた時には90歳を超える母がまだ介護保険を全然使っておりませんでした。介護保険を払いつ放しで使わない人たちに還付金をくれればいいのになんていう話をしていたんですけど、半年前からうちの母もデイサービスを使うようになりました。なお、そういう状況になりまして、この会議に参加させていただきますと、介護保険に関わるこの保険事業というものもより身近に感じられるようになりました。私も 100 パーセント参加できなくて、なかなかこう考えることもできなかつたんですけども、デイサービスに通い始めているんですけど、決まった週2回の日が取れないことがあるんですね。本当に利用者さんが多いんだなっていうのを感じています。で、施設の充実もかなり進んでいますし、充実されてきているんでしょうけども、まだまだお年寄りが多くて足りないのかな、でも先ほどの話に出てきたように新しい所が増えれば、今度古い所が消えていくのも現実としてあるのかなと。私は前に医療機関にいたんですけど、人材が足りなくて病院が、施設ができて開業できないとか全病棟開けられないという状況もありましたので、人材の確保なども含めて色々考えさせられることが多いこの会でありました。本当にありがとうございました。</p>
委員	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それで人材不足の中で、先ほど長岡市さんの方で、私ども施設としては介護福祉士実務者研修について、本当はかなり私たちも法人のたくさんの方の職員研修を受けていますので、その職員についてほとんどが半額以上の補助を受けさせてもらいました。本当に</p>

委員	<p>それはありがたいなと思っていますので、また今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。本当にありがとうございました。それから、人材不足につきましては基本的に増やそうと思ひても増やせないのが現実だというふうに思ひますので、それに代わってどうすればいいか、具体的には人に代わる福祉用具であったりとか、あとロボットであったりとか、どうしてもそういう方向で人材不足に代わるものとして何かしらのサポートと言ひますか、支援があったらいいなというふうに思ひます。以上です。</p> <p>お世話になりました。私は川西なのですが、うちの方は割と老人会が盛んで色々なことで楽しませていただいて、私も入れていただいて楽しませていただいているのですが、でも出てくる人はますます元気に、出てこない方はますます家に閉じこもる感じにして、そういう家に閉じこもっていらっしゃる方をどのようにして引っ張り出すかっていうのを今、考えおひります。どうも色々ありがとうございました。</p>
委員	<p>私は6年間ここに来て、初めの頃はどのようなふうなことをしているかも分からないで、ただここにいて勉強してくださいということだったんですが、この後半の3年間は段々とどのような仕組みになって、どのようなふうなものなのか自分の家庭を基に考えられるような立場になってきてきました。うちの母も89歳なんですけれども、私と母とでこの人が終末期をどのようなふうに送れるのが一番幸せなのか、また私もある程度の介護がどのくらいできるのかということもここで勉強した限りの色々なことを交えながら、これからの母と私と、それから娘もいるんですけども、話し合いをする時にここで習ったこと、それから私は介護の方の現場でデイサービスのお手伝いをしていたんですけども、その時はしているだけで、こういう上の方の人たちがこんなふうにして施設や予算や色々なことを計画していること知りませんでしたので、それがすごく後半3年間になって勉強になりました。どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>ちょうど今年というか来年度で30年です、老いの会ができて。最初の10年の時はとにかく自分の親をどうするか、施設もない何もなしに何かしてほしいみたいな時代でした。次の10年から20年</p>

	<p>の間は、今度は自分たちで施設を見て回ってどんなのがある、こんなものがある、こうしてほしい、ああしてほしいというようなそんな時代でした。そしてこの後の20年から30年の間ですけれども、今度は自分の老いをどこでどのように過ごしたらいいのか、またどんどん施設もできてきました。介護保険が始まってどんどん変わってきたんですけれども、非常にやっぱり、正直思うことは規制が緩和されて施設一つとっても30年前の施設と今度できる施設、ついこの間、施設の説明会に行ったんですけれども、あまりの違いに正直ちょっと呆然としました。だから昔は広い部屋に楽々と、例えば食堂でもものすごく広くて自由に何かができる。この間の説明会の特養の説明会に初めて行ったんですけれども、部屋は7畳、手洗いも何も付いていない、ただ部屋と広いスペースがあるだけ、トイレは4つみたいな。だいたい規制は緩和され、最低基準で行くと、だんだん、確かに施設はいっぱい増えて入りたければ入れるかもしれないけれども、結局中身の問題、それから職員さんが足りないということで、せっかく施設があっても運営できないという状態の中で、これからどうなるのだろう。本当にうちの母も今デイサービスを利用しているんですけど、それこそずっと前にできた施設はすごく広くて好きなことができるんですね。今は規制のとおりなんですけど、テーブルがあるだけで座って移動がなかなかできない。行ってみると、そんな色々な状態がありますので、これからまたみんなで考えていきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>3年間色々と勉強させていただきました。ありがとうございました。今回のニーズ調査を始めから見させていただいたんですけど、色々な方向から分かりやすくまとめてあって、私は本当に良かったなと思います、ありがとうございました。</p>
委員	<p>私もこの会議を通じて色々なことを勉強させられました。高齢者の問題は色々な角度から物事を考えないとなかなか難しいのだなということと、あと個人的にも川東地区西なので一番高齢化が進んでいる、いわゆる旧街場のところになるのですが、個人的にもそれを実感する部分もあって、非常にいい機会を与えていただいたと思っています。商工会議所という所は2,300のいわゆる企業が集まっている団体なんですけど、その中で当然地域の課題、あ</p>

	<p>るいは社会の課題を考える時に人口減少と少子高齢の問題はセットとして話が出てくるんです。ただ、その中での高齢者の問題はあえて話として出てこない。これは何故かという、70代80代になっても元気で頑張っている経営者がいらっしゃるの、おそらく自分のことになるので、あまりこの話題には触れないのかなというふうな感じも私自身が持ってはいます。先ほどお話があったとおり、そうは言ってもそれは一部の経済的余裕のある社長の話であって、本来もっと大勢の従業員、そして働き手の問題でというのがある中で、一部の会社ではやっぱり色々な技術、技能あるいは経験を買って、65歳にこだわらず70歳くらいまで働かせている企業も最近は出てきています。そういう意味では、いわゆる高齢者層の活躍の場をどうするのかということが課題だと思いますし、あまりそれをやり過ぎると逆に若者の活躍の場が奪われるとか、色々な観点があるのですけども、そのアンケート結果にもよりますが、外出をやっぱりいっぱいして楽しんだ方が元気でいられるのかなという話があると、そういう道を作ることもこれからの課題ではないかなと思っていますので、また皆さんと一緒に勉強できればと思います。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>私は1年だったんですけど、老人クラブは高齢化して会長のなり手がなくて、沈没していく会がどんどん増えて、行事もままならないというところも出てまいります。だから、いかにして会員を増やすかということ、いかに魅力のある会にするかということに、日々ない頭を使っております。皆さん協力してください。ありがとうございました、宣伝してください。</p>
委員	<p>私は支所地域の市民代表という立場で参加させていただきました。地方の声を反映させると同時に、事業計画が地方の方でどう受け入れられているのかという、そういうことを大切にしてきたつもりです。私は地域委員とかスポーツ団体である役員とか町内会とか、そういう色々な場所でこれらの計画がどう実践されるか、自分がどうできるのかと、そんなことで取り組ませていただきました。自分としても非常にいい経験になったのかなと思っています。どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>私も3年間、第6期の計画に参加させていただきました、大変</p>

	<p>勉強になりました。この高齢者福祉とか介護保険事業計画っていうのは非常に間口が広くて、かつ奥行きも深い。なかなかこれを一朝一夕にして、それを理解してということは、これは至難の業だなと今つくづく思っております。それでこの3年間でちょっと考えたことがございまして、やはり先ほど来、人口減少問題というのが出てきておりますね、やはりこの高齢者福祉あるいはこの介護保険事業計画というのも突き詰めて考えていくと、どうしても人口減少問題にぶつかってしまう。ですから今、私一番強く思っていますのは、この人口減少問題というのが、これから高齢者福祉あるいは介護保険事業計画にどのように反映されていくのか、そしてどのように方向づけられていくのかということに、私は大変興味を持っております。介護保険料が高くなっていく、しかしながら同時に介護報酬もこれから下がっていかせうと、こう思います。そうしますと、当然人口が減ってくれば、当然こういう現象が起きてくるのはやむを得ないとだろーと思ひます。しかし、そうであるならば、今のこの状態で本当に問題は解決するだろーか。やはり、これからは少し思い切って、介護計画そのものをある程度、抑制的に進めていかないと、今の介護水準というのを維持できなくなってくるのではないだろーかという思ひを持っております。短い経験でございましたけども、思っているところだけ述べさせていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>この会議で色々ご指導にあずかりました。ありがとうございます。多岐にわたるジャンルですので色々課題があるわけですが、長い間委員をさせていただきまして、総じていえば非常に心強く思っております。私も近々どこかへお世話にならないと生きていけないんだと思ひますが、一番身近に委員さんの所がありますからそこかなと思ったり、そういう形で具体的に見学させていただいたりしまして、長岡の色々なこの行政は非常に信頼高くていいところだなど。これからの色々な課題はあるけれども、克服して良くなるんだろーなという信頼感を持っております。そういう気持ちになれたことも含めまして、色々ご指導ありがとうございました。</p> <p>ごめんください。私は1期3年間、務めさせていただきました。</p>
委員	
委員	

	<p>非常に専門的なレベルの高い会議で、毎回感心しながらお聞きしてきました。今 97 歳の年寄りを介護しているんですけども、先日小国地域で、自宅で最期を迎えるために在宅での看取りの講習会というのに参加させていただきました。それも今日の計画の中の一環なんだろうなと思って、大変勉強になりました、ありがとうございました。</p> <p>よろしくお願ひします。3年間どうもありがとうございました。私は大学で高齢者関係の授業を持たせていただいている関係上、福祉計画、介護福祉計画のこの計画書を授業の一環として活用させていただいております。特に認知症高齢者の増加とかひとり暮らし高齢者とか、高齢者だけの世帯が増えているということがあります。学生などに聞きますと、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に暮らしているのということを知るとあまり暮らしていないよと、よく高齢者のことが分からないというようなこともありましたので、この計画書に基づきまして授業に活用させていただいたということです。さらに高齢者の意見を理解するというので、認知症サポーター養成講座を開催させていただきました、3年間続けてきました。来年は4年目に入るわけですが、延べ 150 名ほどの学生がサポーターとして学習できたかなと思っています。今後もまたよろしくお願ひしたいと思っています。もう一つは、高齢者の元気になるためのスポーツを考えようということで、学生に高齢者ができる能力にあったようなスポーツを考えようという最後の授業をやったんですが、色々な学生の意見が出ましたので、そういうものも私の方に、こういうものも良いんじゃないのというの提示していきたいなと思っていますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。以上です。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。では副委員長、よろしくお願ひします。</p>
副委員長	<p>今ちょうど高齢者現況調査という実態を把握するために各家庭を回っておりますが、その中で昨年までは在宅でいたけど、今年からおじいちゃんおばあちゃんどうしたのと言え、施設に入りましたというような声もあります。それから年金は減る、出費が多くなる、介護というのは本当に考えていけないとならないよと、</p>

<p>委員長</p>	<p> いろいろな声も聞かれています。それと認知症が進んでショートステイとかデイサービスに行っているんだけど、残念ながらうちのおばあちゃんが行っている所は間もなく閉鎖になるんだということで、今度はどこにやったらいいか考え中なんで、またその時の相談を頼むね、というようなこと言われています。それから新聞にもずいぶん出ていますが、高齢者の運転等々で事故が起きているということで、70歳以上になったら免許証を返納しなさいねと言うんだけど、私は返したいんだけどその後の手段は何もないというようなことで、じゃあ長岡の場合はバスの券とタクシー券が出ていると。おそらく私の知っている範囲ではバスが5千円、タクシーが5千円というようなことで、1万円分の優待券と言いましょうか、そういうものが出ているのだろうけど、それを全部使い切ってしまうと後は何もないというようなことで、もう少し、われわれ返したいんだけど返して良かったなというような施策を何かできないだろうか、というような相談を受けております。そんなことで、回っていると色々なことで意見が出てきますので、私としても返答のしようがないというような状況でございますので、本当に一端のご紹介をさせていただきます。ありがとうございました。 </p> <p> ありがとうございました。皆さんからお話を色々いただきました。これで最後ですので、私の方もこの3年間こうやって皆さんと一緒に話を進めながら、介護保険制度、先ほどの負担と給付の制度で成り立っている中で、何が大切なのだろうかというの、ちょっと口幅ったい言い方をしますと自助、それから互助、公助と同時にもう一つはやっぱり「近所」という横のつながりをやはり大切にしていかないと、これから介護保険だけではなくて保健福祉計画全体をみますと自身が健康で、特に最近、健康保険証を見ると2割負担になりまして、つくづく色々と考えさせられる部分がございます。それと同時に自分が健康でいたいというのが本音の話でございます。そしてその上で良かったなというのを自分自身が何とか色々な形で作り出せていけたらなというふうに思っています。3年間大変ありがとうございました。 </p> <p> ということで、マイクを事務局の方にお返しします。よろしく願います。 </p>
------------	---

<p>福祉総務課 課長補佐</p>	<p>委員長ありがとうございました。 閉会にあたりまして、副市長より挨拶申し上げます。</p>
<p>副市長</p>	<p>皆様方本当に3年間にわたりましてお忙しい中、このような委員を引き受けていただきまして、誠にありがとうございました。おかげさまで6期の計画の進捗につきまして、色々ご意見いただきまして次回に向けて、私どもまた検討する中で生かしていきたいと思っております。実は正直に申し上げますと、この今期の6期の計画が3か年となりますが、私ども予想外の動きになっております。一つ大きくはご意見にもあったように、介護のサービスを受けられる高齢者の状況が大きく変わっているなというのと、それから供給側の人材不足を含めてのその体制が、なかなか想定どおりにいかなかったということでございます。高齢者の側につきましては、先ほど介護保険課長の方からご報告させていただきましたが、認定率がちょっと下がっているんですね。これは平成26年、3年前の認定率が18.02%、長岡市が18%を超えたときに、実は私、非常に危機感がありまして、これを3年間、何とか18%台に抑えるべく介護予防事業とかをどのように強化していくかということが常に頭にありました。もちろん、はつらつ広場とか、そういった地域の茶の間のようなものを展開していますので、一定の成果もあったというふうに、手前味噌で言いたいところなんですけど、それ以上に大きな、高齢者層の中に変化があるのではないかと。一つは良い方に解釈すれば元気な高齢者が増えられているというふうに見られますので、それ自体は健康に気遣われて、より自発的に自立を目指してやられている高齢者が増えているというふうに見立てられることもできます。それは、実態調査でもある程度うかがえますが、一方では実態調査でもありましたが、経済的な困窮ということもあって、介護を受けたいけれども受けられないというご家庭、あるいは老老介護の中でお一人が入所されますと、それで年金が滞ってしまうという中で、やむなく在宅で何とか暮らしていらっしゃる状況も、一方ではあるのではないかと。ですので、悲喜交々でございまして、高齢者の中で色々な状況が多様化してきている。また施設側の方も、先ほどのお話のように、サービスを展開したくても人材が集まらないので、なかなかオープンが半年、1年と延びてしまって、非常に事業者さん</p>

にとっても大変なダメージになると思います。そのようなことが先ほどの話で生じたといったこともありまして、なかなか若い人たちの介護に、福祉に目を向けてもらえなくてという背景もあったり、これも非常に一筋縄でいかない社会状況があります。われわれも何とか、今現役の頑張っている若い人たちが、実は研修を受けませんと資格が得られないということもありますので、研修費用の助成をさせてもらったりする中で、ごく間接的に支援をさせてもらっていますが、それはなかなか長岡市だけで解決できませんけれども、新潟県全体の中で県も含めて対応をしてもらうような必要があるんじゃないかということでございます。

また、移動支援はこの前の障害の協議会でも同様にお話がありました。やはりこれから移動支援、交通を含めまして足をどう確保するかということも大きな私どもの市の課題でございます。二つありまして、買い物ですとか特に医療ですね、これに通うのは公共交通機関か車で行かないと、なかなか医療機関に行けないような状況もありますし、しかし一方では日常の健康維持のために外に出てもらおうということが、必ずしもバスを使わなくても、むしろ地域の中でかつては集落の中でお茶のみが縁側でなされたようなものが、今はなかなか縁側もないような住宅事情になっている中で、はつらつ広場のようなものをある程度の範囲の公民館などで、週一回からお茶のみやってみましょうかというようなことで、自主的に運営側の方に回っていただくような高齢者も増えております。また、それで参加される方も歩いて行って、その場で週一回くらいはみんなでお茶飲んで楽しい話、わははと笑って、また体操もしてというようなことで、今までにあったような地域の連帯というか繋がりをもう一度別の形ですが、お互いに互助といいますか、会長さんのお話で言えば「近所」ですね。近所の力というものを、もう一度新しい形で復活させていく、そしてお互い励まし合いながら、そういう外に出るという機会もあるかと思っておりますので、それも移動も色々なレベルがあって、そういった全体を視野に入れて、私どもも次の第7期の計画を来年度の策定を皆さんと議論をまた進めながらやっていきたいと思っております。

また、今回はこれで一区切りとしまして皆様委員の任務は終えさせていただきますが、またせつかくのこういう繋がりがございますので、また色々な立場で、また私ども市の計画の策定の中ですとか、あるいは色々な場面でご意見をいただいたり、ご協力

<p>福祉総務課 課長補佐</p>	<p>いただければと思いますので、非常に長い間でございますが、お礼を申しあげまして、この会を終わりにさせていただきます。本当に長い間ありがとうございました、今度ともよろしく願いいたします。</p> <p>長時間にわたり、活発なご審議をいただきまして、大変ありがとうございました。</p> <p>最後に事務連絡をさせていただきます。</p> <p>本日の会議の議事録につきましては、後日お送りいたします。なお、長岡市のホームページにも会議録を掲載させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、本日お車でお越しの方は駐車券の無料処理をさせていただきますので、閉会后、事務局までお声掛けください。</p> <p>それでは、本日はこれで閉会とさせていただきます。</p> <p>皆様、3年間大変ありがとうございました。</p>
<p>8 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>